

2022年5月26日

通貨ニュース

インドネシア:5月金融政策会合～預金準備率の引き上げ幅を拡大

インドネシア銀行(中央銀行、BI)は23～24日に開催した金融政策会合で、政策金利の7日物リバースレポレートに15回連続で3.50%に据え置いた(図表1)。上限金利の翌日物貸出ファシリティ金利と下限金利の翌日物預金ファシリティ金利も現状維持となった。ブルームバーグの事前予想でも現状維持が優勢であった。引き続き、BIが16年に7日物リバースレポレートを主要政策金利とした以降では過去最低の金利水準となっている。また、BIは預金準備率の引き上げ幅を拡げることを発表した。預金準備率は今年9月には9%(イスラム銀行については7.5%)まで引き上げられることとなる。

声明文ではウクライナ危機の長期化と米国をはじめとする先進各国の金融政策の正常化、ゼロコロナ政策を推し進めることによる中国経済の減速懸念が世界経済にとってリスク要因となっている点に言及。特に米国の金融政策の正常化は市場心理を冷え込ませるものとして、インドネシア金融市場への影響も含めて注視していく方針が示されている。

国内経済については会合前に1～3月期GDPが公表されており、前年同期比+5.0%の結果となった(図表2)。内訳をみると、個人消費が同+4.4%で堅調な経済成長を下支えしたほか、資源価格の高騰が進む中で、輸出が同+16.2%の強い伸びを見せた。BIもオミクロン株の感染抑制以降、景気回復は続いていると総括し、22年の成長率見通しを前年比+4.5～+5.3%に据え置いた。

消費者物価指数(CPI)は引き続き騰勢を強めている。4月CPIは前年比+3.5%となり、17年12月以来の伸びを記録した(図表3)。内訳を見ると食品やエネルギー関連の項目での上昇が目立つが、それらを除いたコアCPIも同+2.6%と3月の同+2.4%から段階的に上昇している。この点について、ペリーBI総裁はインフレ加速懸念を示したが、管理可能な水準にあり、来年にかけて物価上昇率はBIの定める目標レンジ(+2.0%～4.0%)に収まるとした。また、ASEAN域内でもインフレ対応のために利上げに着手した国が出ているが、現状では政策金利の調整を通じたインフレ対応の必要性は低いと述べている。

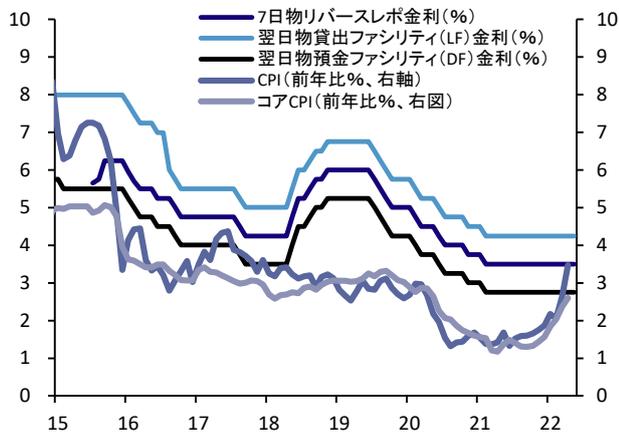
もともと、BIの政策スタンスには変化の兆候が見られつつある。今回公表の声明文では緩和的(accommodative)な金融政策を維持するといった記載はなく、今後の政策指針も為替の安定やインフレ抑制に注力していく姿勢が色濃く出ている印象がある。今回の預金準備率の引き上げ幅拡大はこの方針を汲んだ決定であると見られ、市場への流動性供給量の正常化を通じてIDRの安定性を維持することを意図しているのであろう。

足許の為替相場を見ても、資源需要の高まりによってIDRの実需は堅調であり、リスクオフムードが強まる相場展開ながらIDRは大きく値を下げることなく推移している(図表4)。こうした状況もBIが米国に追随した利上げを急がず、景気支援にも最大限配慮した政策スタンスを維持できている要因であると見られ

市場営業部
マーケットエコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

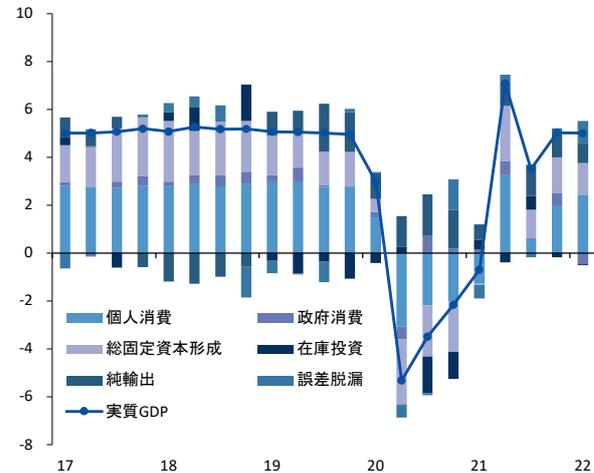
る。今後にかけても、世界的なインフレ高進と景気減速懸念が煽る中で、国内の経済・物価および IDR の動向を見ながら段階的に金融政策の正常化の機会を模索していくものと考えられる。

図表 1: 政策金利と消費者物価の推移



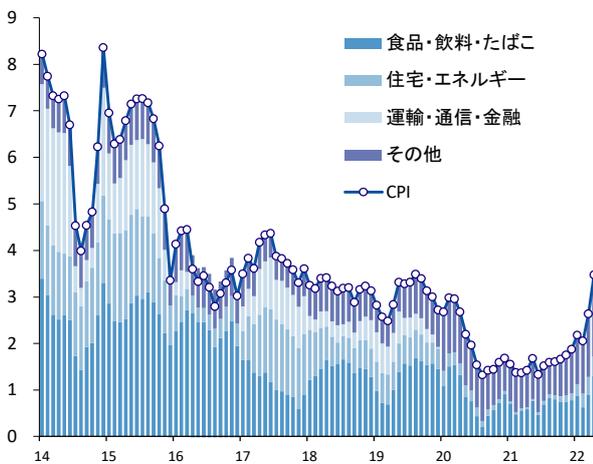
出所: インドネシア銀行、Bloomberg、みずほ銀行

図表 2: 実質 GDP 成長率 (前年比%、%ポイント)



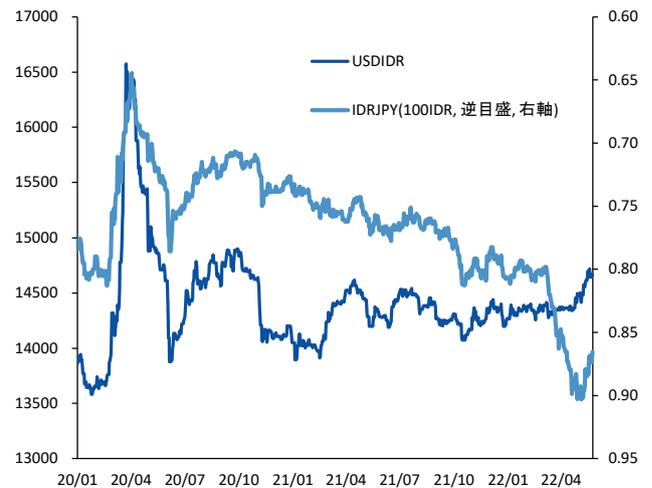
出所: インドネシア中央統計局、CEIC、みずほ銀行

図表 2: 消費者物価の動向 (前年比%、%ポイント)



出所: インドネシア中央統計局、CEIC、みずほ銀行

図表 4: IDR の動向



出所: Bloomberg、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。